

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

このとり絆住宅

グループの名称

このとり絆住宅をつくる会

直近採択グループ番号

06-0361-0585

(グループ代表者)

代表者名

高柴 優

代表者印

代表者所属先

住環境システム協同組合

代表者所在地

兵庫県養父市藪崎

代表者電話番号

079-664-0297

(グループ事務局)

事務局事業者名

住環境システム協同組合

事務局担当者名

川本 天一

印

事務局郵便番号

667-0113

事務局所在地

兵庫県養父市藪崎1050番地

事務局電話番号

079-664-0297

事務局FAX

079-664-2824

事務局担当者E-mail

t-kawamoto@takashiba.net

B. 平成30年度における補助対象の 木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸 数、 三世帯同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命 型	長期優良 住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の 申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		40	戸		
				加算 申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	40	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	4	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		20	戸		
				加算 申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	20	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸		
	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の 申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		20	戸				
		加算 申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	20	戸				
			上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	2	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		10	戸				
		加算 申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	10	戸				
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
	高度省 エネ型	認定低炭 素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の 申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		10	戸		
				加算 申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	10	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		5	戸		
				加算 申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		性能向上 計画認定 住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の 申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		10	戸		
				加算 申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	10	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		5	戸		
				加算 申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
ゼロ・エネ ルギー住 宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による 申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		15	戸				
		加算 申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	15	戸				
			上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	1	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		7	戸				
		加算 申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	7	戸				
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
未経験工務店(3戸(7戸)以下)による 申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		10	戸					
	加算 申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	10	戸					
		上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	1	戸					
	その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		5	戸					
	加算 申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸					
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
経験工務店(4戸(8戸)以上)による 申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		10	戸					
	加算 申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	10	戸					
		上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	2	戸					
	その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		5	戸					
	加算 申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸					
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸					
未経験工務店(3戸(7戸)以下)による 申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		10	戸					
	加算 申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	10	戸					
		上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	2	戸					
	その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		5	戸					
	加算 申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸					
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸					
C. 平成30年度当初予算における補助対象の 優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		4	棟			
			740	m ²					
			その内9月までに交付申請が確 実にできる棟数及び面積				2	棟	
			400	m ²					
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者に おける補助対象戸数の配分ルール (必須)	本事業の活用を希望された方で構成されている為、参加施工構成員には、最低1棟の割り当てを原則とし長期優良住宅・高度省エネ型等の取組を経験されていない構成員と、早期施工着手の物件を優先配分する。								
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	26	戸	交付申請戸数	11	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	5	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	7	戸	交付申請戸数	5	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) このとり絆住宅	(地域型住宅供給対象地域) 兵庫県,京都府
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) このとり絆住宅をつくる会	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0361-0585	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	雪や地震に強い木造住宅にする為、耐震性能を重視し、耐震等級2以上とする。地盤調査は最低5ポイント実施し基礎設計に生かす。また、省エネ性能を重視する住宅とし、2020年に向けて改正省エネ基準値相当の断熱性能の確保を進める。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	地域林業等との保全、快適な住環境の提供又、次世代に安心安全な住宅を提供する為、地域材を活用した人にやさしい木の風合いのある住宅の提供を進めることと致します。天井・床・壁に音漏れの少ない(遮音・吸音・防音)材料を1部分に必ず採用し、建物の換気や日射も考慮した安らぎのある空間を確保する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	施工構成員のエリアが都市部から農山村地域で景観と住まいの文化やデザインも多様であり其々の街並みを配慮したデザインや部材を選択し、安心・安全な構造とする。	◎
④①～③の背景	兵庫県は北は日本海、南は瀬戸内海に面し、中国山脈を境に気候・風土・文化等は大きく異なり、北部の海岸部や中間地は年間を通じて雨や雪が多く、高温多湿で住宅は多雪住宅である。中南部は瀬戸内の温暖な気候に恵まれるが、夏は蒸し暑く、冬は底冷えがする。平成7年の阪神・淡路大震災を経験し、住宅に対する耐震意識は高い。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	さらなるエネルギー削減及び2030年にHEMSの全世帯設置が予定されている事を踏まえ、グループとして積極的にHEMSの採用を推進する。	◎

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 地域材の一部柱は3.5寸以上の材を使用する。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 地域材の一部について、寸法規格を統一し、地域材のラインナップを設計者・施工業者・施主に対して理解しやすくする。(非住宅除く)	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 長寿命型・高度省エネ型、それぞれの住宅について、木材・建材の主要部材について標準仕様をパッケージ化し、施主に提案しやすい仕組みを作る。	◎
②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 建築資材の調達については安全供給と安価な仕入を考慮し、共同購入は強制していないが、グループ間での資材供給を推奨している。	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 住宅履歴管理事務作業合理化の為、住宅あんしん保証・第三者住宅管理システム「いえかて」「ハウスプラス」等を利用。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 建主に対しグループでの取り組みや長期優良住宅、認定低炭素住宅、ゼロエネルギー住宅等の性能をより分かり易い説明を維持し、施主様からの要望が出るような取組みを行う。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局が定期的に開催している研修会を外部講師によるセミナーだけでなく、グループ内での成功体験セミナーの開催等を企画し、情報共有と向上に努める。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 各施工業者の標準仕様による設計図書を作成を実施し、施主への提示を義務付ける。瑕疵担保責任保険に加入、現場検査にて施工過程の明確化に努める。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 建設地の地盤調査を実施し、施主への報告を義務付ける。瑕疵担保保険に加入し、現場検査を活用する。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 省エネ性能の向上を目指し、低炭素化住宅を推進することで、施工技術だけでなく、コスト面でも見積書等の作成により、建築コストの「見える化」を推進する。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ホームページやイベント等で地域の消費者と住宅産業の双方に対し、広くグループの広報活動を行うことで、認知度のさらなる向上を目指す。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 社員全員参加のミーティングの開催の推進。NO残業日の設定。毎週第1営業日に各部署の1週間のスケジュール状況の把握、問題点を周知。社員の休暇に併せて、1週間のスケジュールを立て、社内の情報の共有を図る。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 再雇用・女性の積極的な雇用の推進。	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 個人事業者に向けて、社会保険加入促進セミナーの案内をする。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 過重な仕事やストレスはメンタルヘルスの不調等、心身の健康上の問題の観点からも改善する必要がある為、メンタルヘルスカアの充実等の取り組みを推進する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) このとり絆住宅	(地域型住宅供給対象地域) 兵庫県京都市
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) このとり絆住宅をつくる会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0361-0585	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 設計図書類を蓄積する。	○
		①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関(いえかるて・ハウスプラス他)の住宅履歴情報管理システムの利用。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施主ごとの図面、点検結果の登録状況を事務局IDで直接確認。	○
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 点検結果チェックシートに定期点検の実施記録等、維持管理に係る事項において管理を行う。	○
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 持続できる体制を整備。	○
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関(いえかるて・ハウスプラス他)の点検結果チェックシートの登録状況の確認。	○
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 概ね年2回講師を招き「住まいのお手入れセミナー」を開催。	○
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 講師を招き、ぶちDIY・お子様も参加できる黒板塗料で小物作りや漆喰・珪藻土塗り体験会を開催。網戸貼替体験会を年2回実施。	○
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域型住宅の構造員学会や完成見学会において来場する消費者に住宅にかかる維持管理の項目・費用・時期等について講習や相談会を施工員が中心となって行う。	○
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工員で年4回維持管理委員会を開催し、維持保全計画とその実施状況の分析結果・点検周期点検部位・点検実施上の課題などについて検討する。	○	
⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅引き渡し時に施主に対し日常の清掃とお手入れが重要であることを、「住まいの管理手帳」を使い、お手入れの仕方を説明する。	○		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ構成員相互の協力体制により、維持管理の信頼性を保つため、構成員の中から代替して管理する業者を選定する。住宅履歴情報などの確認を行い、他施工員と協力し長期に渡る住宅メンテナンス体制を継続する。	◎	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	グループとして長期優良住宅化リフォーム事業への取り組みを共通化できる様に、検討部会を設け、様々な角度から検討を進める。		○	

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅や認定低炭素など地域型住宅の供給にかかわる各種認定の概要と技術的審査について、検査機関や瑕疵担保責任法人のマニュアルなどを用いて説明する機会を設けることにより、これまで長期優良住宅や認定低炭素住宅などを供給したことのない施工員が取組みをはじめのきっかけ作りを事務局主導で行う。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 会員相互の勉強会を開催、会員相互に施工現場を見学し意見交換を行い資質の向上を図る。	○
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴の登録状況(画像とチェックシート等)で年2回確認。	○
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内で地域型住宅の施工を経験したことのある会員を30社以上とすることを目標とし、1年間に地域型住宅を各会員を2戸以上には供給することを目指す。	◎
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅や認定低炭素住宅の供給実績の無い施工員への設計・施工・申請手続きなど、設計会員の協力を得ながらサポートをする。又高度省エネ型(認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅・ゼロエネルギー住宅)も供給出来るよう、グループ構成員の業種の範囲を広げ、省エネ設備を扱う事業者などとも連携を行う。	◎
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局主導で積極的に情報発信していくことはもとより、各業種ごとに地域型住宅の供給にかかわる情報の共有や発信を行うことができるようになることに意義があると考え、そのため各業種ごとの分科会のようなものをつくることも視野に入れていきたい。	◎
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 60 今年度の参加目標人数 100	○
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 15 今年度の参加目標人数 20	○
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 設計・施工・監理に関わる全ての方々を受講するよう講習の日程等を周知する。	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: HEMS・太陽光発電、蓄電池等のエネルギー関連機器を積極的に推奨する。	◎
	② 新たな技術等の開発	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内での成功体験セミナーの開催等を企画し、情報共有と向上に努める。	○

	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	夏の暑さと冬の寒さに耐える住まいづくりをする為、省エネルギー基準等の勉強会を開催。グループ内の設計・施工研修を座学と現場研修の2つに分けて開催する。	○
--	---	--	---

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) このとり絆住宅	(地域型住宅供給対象地域) 兵庫県, 京都府
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) このとり絆住宅をつくる会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0361-0585	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
a	地域材利用に関する共通ルール(必須)	◎												
①	「兵庫県産木材証明制度」「ひょうご県産木材認証制度」「合法木材認証制度」のいずれかとし、主要構造部(土台・柱・梁・桁)の50%以上に地域材を使用するものとする。土台・柱は国産の桧・杉材を中心に採用する。梁・桁は地域の杉集成材・合法木材を中心に採用する。	◎												
②	地域材利用の1棟当たりの割合(必須) <input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	◎												
③	標準的な地域材の使用部位(必須)	◎												
<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>		主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
④	<p>地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明</p> <p>【外国産材の証明について】 原木供給事業者が海外であるため、本申請において必要とされる本社の法人登記事項証明書など念書の添付が不可能である。</p> <p>【合法材の合法性証明について】 合法木材の一部においては、産地・出荷者が多岐にわたり原木供給者の特定が困難な為、製材・集成材・合板グループに所属する出荷者による合法性の証明によって代替とする。</p>													
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	◎												
	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となり、グループ内への在庫状況の伝達に努める。													
	①-2 地域材価格の共有の仕組	◎												
	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 上記の情報を事務局は各構成員に発信する事でグループ全体での共有を図る。													
	② グループ全体における地域材の需給予測	◎												
	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 使用材量の安定供給の為、海外原木やハイブリット製品等を用いる場合も想定している。													
c	①-1 畳の活用	◎												
	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 建築主に住文化・景観等への寄付について理解を求め活用を進める。今年度の使用予定枚数(1畳換算): 250枚													
	①-2 和瓦の活用	◎												
	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 建築主に住文化・景観等への寄付について理解を求め活用を進める。今年度の使用予定枚数: 1,000坪													
	①-3 襖の活用	◎												
	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 建築主に住文化・景観等への寄付について理解を求め活用を進める。今年度の使用予定枚数(3×6換算): 150枚													
	①-4 障子の活用	◎												
	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 建築主に住文化・景観等への寄付について理解を求め活用を進める。今年度の使用予定枚数(3×6換算): 100枚													
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	◎												
	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 兵庫県産である杉・桧の活用を図り、兵庫県の気候・風土に合った住宅を提供する。													
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	◎												
	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域産業(地域木工建具産業や地域瓦業組合等)で畳・木製建具・瓦・塗り壁等の採用を推奨する。													
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	◎												
	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域材を使った横架材の現仕上を推奨する。													
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	◎												
	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 施工会員が行う維持管理活動やその他定期訪問活動が、地域型住宅に暮らす施工との良好関係を築く。それらの活動の中で得た情報をグループ会員で共有する事で、より良い地域の住まいの継承につながる。													
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	◎												
	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 境界領域に目を向け、緑化計画書・外構計画書の提案をする。													
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	◎												
	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 通風を考慮した間取りを検討し、縁側などを設置することにより、日射の調節を行うことを推奨していく。													

その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	地域材を活かした木のぬくもりや新鮮さを感じ、家を通じて地域の文化経済の活性化に貢献する住宅を目指します。	◎
カ. その他		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	被災地の復興状況を把握し、情報提供を組合構成員に知らせる。グループ各事業者のネットワークを活用したサポート体制を構築し、災害時に備える。又、技術面で再利用可能な仮設住宅の研究・開発に取り組む。	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組	被災地の復興状況を把握し、情報提供を組合構成員に知らせる。グループ各事業者のネットワークを活用したサポート体制を構築し、災害時に備える。又、技術面で再利用可能な仮設住宅の研究・開発に取り組む。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) このとり絆住宅	(地域型住宅供給対象地域) 兵庫県, 京都府
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) このとり絆住宅をつくる会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0361-0585	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

【このとり絆住宅】の高度省エネ型(認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロエネルギー住宅)の特徴

[ゼロ・エネルギー住宅]

このとり絆ゼロエネ住宅(4.5.6地域)

<外皮熱貫流率>

<一次エネルギー消費量削減率>

4地域基準 U A 値 0.75 ⇒ 0.57 以下

[全体の削減率]

4地域 104.9%(R) 以上、5地域 106.3%(R) 以上、6地域 104.5%(R) 以上

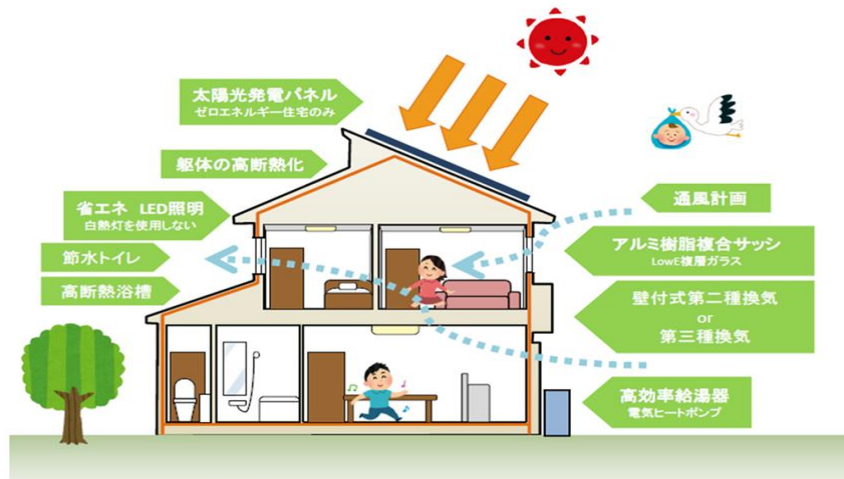
5地域基準 U A 値 0.87 ⇒ 0.57 以下

[太陽光を除く削減率]

4地域 20.1%(Ro) 以上、5地域 20.1%(Ro) 以上、6地域 20.6%(Ro) 以上

6地域基準 U A 値 0.87 ⇒ 0.57 以下

グループの定める地域材を主要構造部に50%以上使用する場合、掛かり増し費用に対する補助の加算を受けることが出来る。



[認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅]

●認定低炭素低炭素基準必須

- ・外皮性能 省エネ基準と同等以上の断熱性能；日射熱取得性能の確保されている事。
- ・一次エネルギー消費量削減、一次エネルギー消費量がマイナス10%以上である事。

グループの定める地域材を主要構造部に50%以上使用する場合、掛かり増し費用に対する補助の加算を受けることが出来る。

[優良建築物型・非住宅]

強度安全上困難な場合は、主要構造材(柱・梁・桁・土台)の30%以上に指定地域材を利用する。

主要構造材(柱・梁・桁・土台)の30%に満たない場合は垂木・間柱・または床合板等を代替の材積としてカウントする。認定低炭素・CASBEE(B+ランク)・BELSのいずれかを条件とする。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。